

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/01/09

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	34.63	0.08
JPY/THB	0.2187	0.0000
USD/JPY	158.35	0.30
EUR/THB	35.73	-0.01
EUR/USD	1.0318	-0.0022
USD/CNH	7.354	0.014
SGD/THB	25.32	-0.01
AUD/THB	21.53	-0.01
USD/INR	85.86	0.13
USD Index	109.09	0.55

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.115	0.003
10Y (THB)	2.346	-0.002
5Y (USD)	4.461	-0.003
10Y (USD)	4.689	0.004

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,672.4	7
WTI (Oil)	73.32	-0.93
Copper	9,031.5	28.5

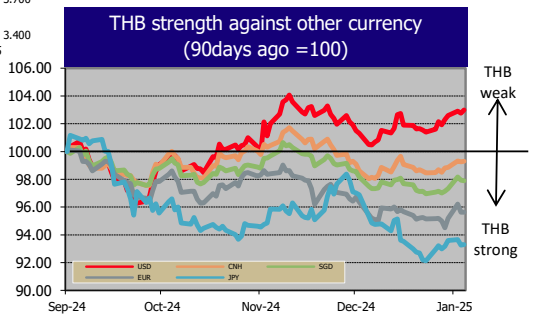
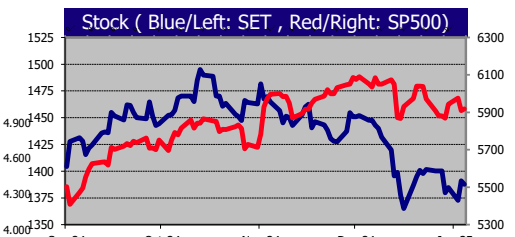
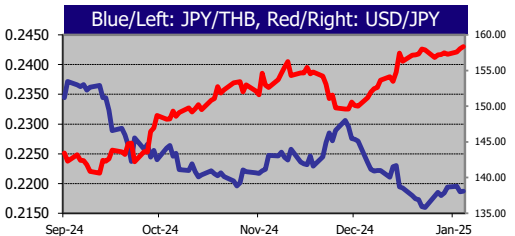
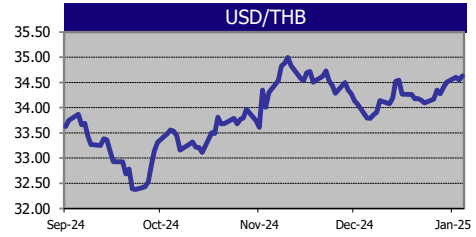
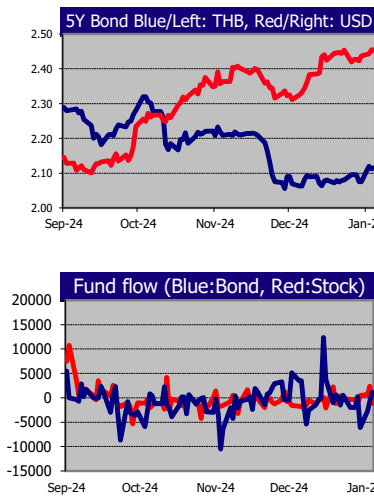
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,387.72	-3.16
NIKKEI (JP)	39,981.06	-102.24
DOW (US)	42,635.20	106.84
S&P500 (US)	5,918.25	9.22
SHCOMP (CN)	3,230.17	0.52
DAX(GER)	20,329.94	-10.63

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(1,115)	-3516.1
Bond net flow	1,107	1825.8

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは小幅上昇。34/パーツ台半ば付近でスタート。バンコク時間は34/パーツ台後半でのみ合い推移が続いたが、海外時間に入ると、ドルじり高展開となった。NY時間|FRBウォラー理事による「一段の利下げが適切」発言や強弱入り混じる米雇用関連指標を受け、一時パーツ高に振れた場面があったものの、終盤にかけて底堅く推移し、34.63レベルでクローズ。

●ドル円その他

昨日のドル円は小幅上昇。158円ちようど付近でスタート。東京時間は特設新規材料ない中で、158円台前半での売り買いが交錯。海外勢が参入してくると、ややドル買い優勢に転じ、158円半ば付近まで上昇。NY時間|FRBウォラー理事による追加利下げ支持の発言や予想を下回った米12月ADP雇用統計を受け、158円台前半まで反落。続いて発表された新規失業保険件数が予想外に減少したことから反発するも、終盤にかけて上値重く推移し、158.35レベルでクローズ。

Bangkok Dealer's Eye

年初からのドル高地合いがなかなか収まりを見せない。昨日米国で発表された民間雇用者数の伸びこそ予想を下回る結果となったが、それ以外で今週発表された12月ISM非製造業景況指数や11月求人統計、昨日の新規失業保険申請件数などでは強い内容が相次ぎ、FOMCによる年内の追加利下げ観測が日に日に後退の一途を辿るなか、加えて今週は起債や国債入札も多く、債券需給環境の緩みから米金利が上昇しやすい地合いとなっており、ドルを後押しする材料となっている。こうなるとドル円を見るうえでは、介入への警戒感が円安の歯止めとなるか、パーツを見るうえでは足元で連日取引レンジの上限に張り付いている人民元がどこまで耐えられるかなどが鍵となろうか。人民元は中銀が設定する日々の仲値レートによって明らかに元安進行が抑えられており、これにより貿易相手国・地域の通貨から成る通貨バスケットの中では不自然に通貨高が進む状況となっている。これが中国の輸出企業に与える悪影響を勘案すれば、今後は徐々に仲値を動かしてくる可能性は高いと見るが、それによって元安傾向が浮き彫りになると、今度はアジア通貨にとって連れ安などを警戒する局面も出てくるだろう。本日はカーター元大統領の国葬で米株市場は休場、米債市場は短縮取引となる。明日に米12月雇用統計を控え本日の為替市場は動意に乏しい展開となりそうだが、中国で発表される物価統計には注目しておきたい。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.